

弘大で産学連携コーディネーター

工藤さん文科大臣賞

科学技術機構 P G産業化を評価

弘前大学は28日、弘大COI研究推進機構リサーチ・アドミニストレーター（産学連携担当）の工藤重光さん（57）が、科学技術振興機構（JST）の本年度の「イノベーションコーディネータ大賞 文部科学大臣賞」に決まったと発表した。県内での大賞受賞は初めて。

（佐藤彩乃）

4月末まで所属していた弘大地域共同研究センターの産学官連携コーディネーターとして、サケ鼻軟骨由来の機能性素材「プロテオグ

リカン（PG）」を利用した商品開発による産業化を推進したことが評価され



文部科学大臣賞受賞に笑顔を見せる工藤さん

た。

2009年に創設された同賞は、大学の持つ技術や知識を発掘し、商品化に向け企業との効果的な橋渡しを行う人に贈られる。22日に公表され11月11日、茨城県つくば市で授賞式が開かれる。

工藤さんは06年1月から14年4月まで、同センターで研究者と企業を結びつけたり、外部資金を獲得する手続きを担った。工藤さんは「コーディネータは黒子のような存在で、一人では賞はもらえない」と関わってきた人々に感謝する。今の職場でも大学と企業をつなぐ役割を担い、「これからはもやってみていくことは変わらない」と話した。

東奥日報2014年10月29日（水）20面掲載

「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」